

(山村活性化支援交付金) たけのこ芋、山菜、ジビエを活用した商品開発 及び地域資源を活かした滞在型観光の推進

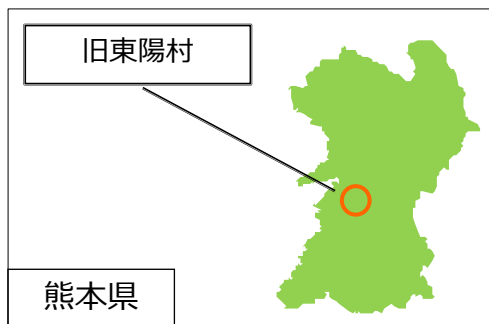
やつしろ とうようむら
【熊本県八代市 (旧東陽村)】

取組のポイント

- ◆ 連作障害に苦慮しているしょうがに代わる新たな地域資源として、たけのこ芋、山菜（コゴミ）の実証生産と、たけのこ芋等を活用した加工品及び調理メニューの開発
- ◆ 地元猟友会や近隣地に所在する解体所と連携したジビエの安定供給体制の構築
- ◆ 農業の営みや自然等を活かした観光型農業体験等のプログラムを開発し、域外との交流や開発商品の販売を促進

地区の概要

- ◆ 位置
熊本県八代市（旧東陽村）



- ◆ 活用した地域資源
たけのこ芋、山菜（コゴミ）、ジビエ
- ◆ 事業実施主体
東陽ブランド化推進協議会
- ◆ 主な取組団体等
東陽まちづくり協議会
(株) 東陽地区ふるさと公社
(道の駅東陽)
- ◆ 事業実施期間
R3～R5
東陽グリーン・ツーリズム協会

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 新たな地域資源を活用した加工品及び調理メニューの開発による付加価値の向上
- ◆ たけのこ芋、ジビエ等の安定した供給が行えるよう、栽培、供給体制の確立



【開発商品】



【コゴミの栽培実証・ジビエの解体所との連携】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 農業の営みや日本遺産に登録された石橋を活用した観光型農業体験等様々な観光プログラムを試行
- ◆ 商談会への参加による販路拡大、イベントを活用した開発商品の販売促進



【東京インターナショナルギフト・ショー出展】



【ワーキングウィークデイ（観光型農業体験）】

取組の成果

- ◆ 地域資源を活用した加工品及び調理メニューの開発 17品（たけのこ芋のババロア、猪肉のカレー 等）
- ◆ 商品化された青果・加工品の販売額及びツーリズムを活用した様々なイベントによる売り上げ増加額
1,000千円（R2実績） → 2,010千円（R5実績）※対前比201%
- ◆ バイク・自転車ツーリズムイベント等のグリーンツーリズム関係交流者数 50人（R2実績） → 268人（R5実績）